

20時間未満の「超」短時間雇用 ショートタイムワークについて

ソフトバンク株式会社 CSR本部 多様性推進課

アジェンダ

- ソフトバンクのCSRについて
- ショートタイムワークについて
- 社内での運用状況
- 「共に働く」上での工夫
- 事例紹介
- 今後の展開

ソフトバンクのCSRについて



解決までが社会貢献

人がつながるソフトバンク

**ICTを活用してあらゆる問題・課題の間に入り込み、
それらを解決することを目的としています**



ICT×社会課題

5つの重点領域を中心に活動

2009年から実施

ICTを活用し障がい児の
教育・生活を支援



11年間で特別支援学校等のべ約700校/1,000件の事例創出

※東京大学先端科学技術研究センターで共同実証研究

障がいのある子どもたちが
能力を発揮できる「環境」作り

ショートタイムワークとは

ソフトバンクの障がい者雇用について

施策名	障がい者採用	ショートタイムワーク
障害者雇用率制度換算	対象	対象外
担当部署	人事	CSR
ポリシー	全社員が同一の人事制度	社会参加の最初の一步の後押し
就業時間	40時間以上	週20時間未満
雇用形態	正社員	アルバイト
雇用数	約390名	約20名

長時間勤務が困難な方がいる

疲れやすい

集中力
続かない

集中
しすぎる

体調変動



障がい者における就労の「壁」

	現状	課題
日本型雇用	週40時間以上の労働 職務定義が無い	長時間労働 が可能で 何でも出来る人 が求められがち
社会制度	障がい者の週20時間以上の雇用 障がい者雇用率制度の対象範囲	週20時間未満の雇用 障がい者雇用率制度 対象外



短時間から働く選択肢が少ない
キャリアをはじめるとリスタートするチャンスが少ない

雇用されていない障がい者の人数想定

障害者雇用率制度適用

※1
約58万人

← 週20時間以上
働くことができる

障害者雇用率制度
適用外

※3
約295万人

← 短時間であれば
働くことができる
可能性のある方

※週20時間未満

(参考)

※1 民間企業(45.5人以上規模の企業:法定雇用率2.2%)に雇用されている障害者の数578,292.0人(令和2年 障害者雇用状況の集計結果)

※2 在宅身体障害者:18歳以上65歳未満101万3千人【平成28(2016)年】

在宅知的障害者:18歳以上65歳未満58万人【平成28(2016)年】

外来精神障害者:25歳以上65歳未満192万6千人【平成26(2014)年】

抜粋:平成30年版 障害者白書(全体版) > 本文(HTML形式) > 参考資料 障害者の状況

○厚生労働省による「生活のしづらさなどに関する調査」、「社会福祉施設等調査」又は「患者調査」に基づき推計された基本的な統計数値を掲載。

※3 18~64歳の障がい者約352万人 - 雇用されている障害者約57万人 = 約295万人



東京大学先端研
近藤教授が提唱する
超短時間雇用モデルを
もとに仕組み化



事情により長時間勤務が困難な方が
「週20時間未満」から就業できる働き方



ショートタイムワークの仕組み

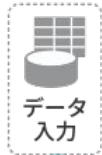
同じ組織内での業務の様子

1

業務担当者が
業務を明確にする



商談



データ
入力



企画書
作成



情報
収集



業務担当者

企業

共に働く



ウェブカメラで常時接続

※テレワークの場合のみ



2

業務の一部を
ショートタイムワーカーが実施する

業務内容 データ入力、資料作成
情報収集、分析、各種企画 など



データ
入力



情報
収集



ショートタイムワーカー

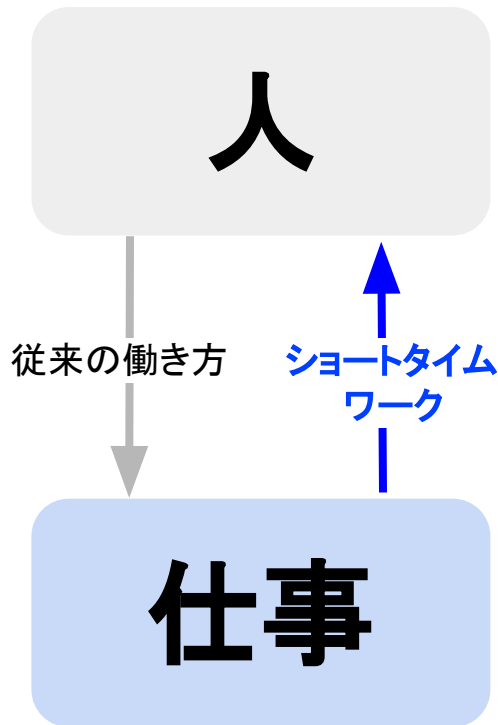
テレワークや出社など多様な勤務形態

4

業務分担することで
新しい業務ができる

3

特性や経験を活かし
短い時間で働く



必須条件

- ✓ 職務定義を行い職務に対して人を雇用
- ✓ 短時間から就業が可能
- ✓ 本質的業務以外は柔軟に配慮する
- ✓ 共に働く

※IDEAプロジェクト超短時間雇用モデル

東京大学先端科学技術研究センター 近藤武夫教授提唱

ショートタイムワークの求める人物像

- ・自身の配慮事項を受容できている
- ・配慮事項を自ら伝えることができる
- ・仕事に前向きである
- ・業務上必要なコミュニケーションをとれる
- ・メンバーと共働できる
- ・機密情報を守ることができる
- ・一人で通勤が可能
- ・就業開始後は、雇用契約内容、社内規程等を遵守できる方

テレワークに求める利用者像と育成する事業所への要望

- ✓ Word、Excelの基本操作
- ✓ 問題解決力
(自分で調べる、人に聞く)

社内での運用について

雇用状況

カテゴリ	内容
勤務人数	25名(障がいのある方17名、その他8名) ※2022年2月末時点(累計54名)
勤務時間	週1×4時間(週4時間)～週4日×4.5時間(週18時間)
年齢	20～50代
雇用実績	<ul style="list-style-type: none">・障がいのある方 (ADHD、自閉症スペクトラム、双極性障害、アスペルガー症候群、統合失調症、うつ病 等)・子育て、介護などの理由で長時間勤務が出来ない方・がんなどの闘病中の方
勤続期間	最長5年

業務例(社内事例)



ショートタイムワーク

誰もが自分らしく活躍できる未来へ

カテゴリ	業務例	詳細
事務サポート	契約関連	稟議作成・納品、検収処理
	支払処理	請求書発行・支払申請
	書類管理	各種書類のファイリング
	データ管理	画像データのエクセルへの転記、管理
	郵送物対応	宛名シール作成、社内郵便物仕分け
企画サポート	資料作成	プロジェクト議事のとりまとめ
	フォーム作成	イベント申込フォームの作成・自動返信プログラミング作成
	アンケート集計	エクセルを使ったアンケートデータの集計作業
システム関連	システム監視	サイトの監視、巡回作業
	アノテーション作業	手話動画のアノテーション
	動画管理	手話動画の登録、動画確認作業
	データ修正作業	システム登録内容の確認。修正作業
特定スキルを活かした業務	翻訳	システムの英訳・顧客所在地の英語翻訳
	記事作成	社内イントラネット記事作成 SNS発信記事の作成

さまざまな部門で活躍しています

営業
部門

技術
部門

システム
部門

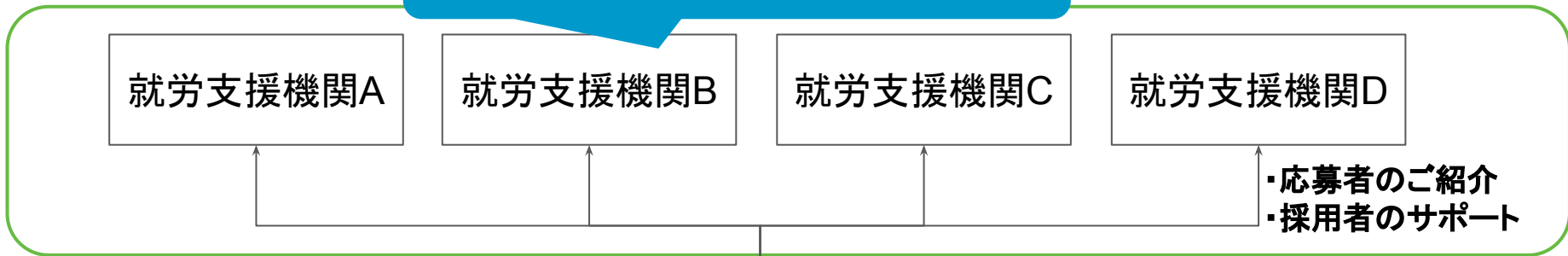
人事総務
部門

社内問い合わせ数: 159件
累計勤務部署数 : 67部署

※ 2021年8月時点

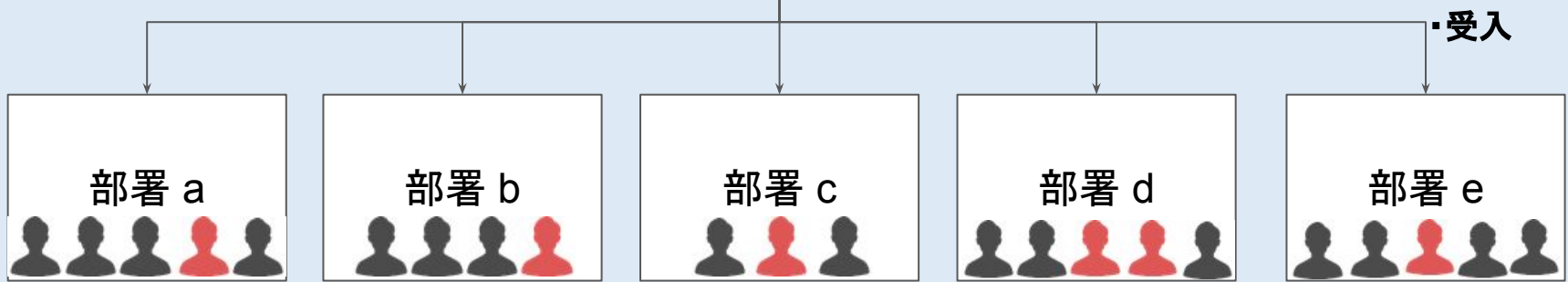
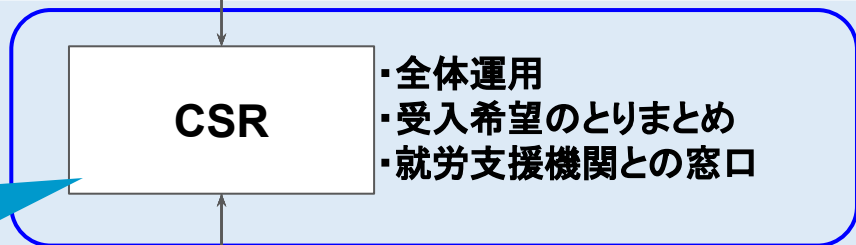
社内体制

ポイント
就労支援機関の連携による雇用不安の軽減



SoftBank

ポイント
社内推進部門の設置による
部門負担軽減



各社の役割と就労支援機関に求めること

受入部署



ショートタイムワーカー

- ・業務内容ヒアリング
- ・ワーカー紹介
- ・受け入れ後のサポート

- ・メール相談
(ワーカーの様子について、
業務時間の増加の相談など)
- ・定期訪問での定着支援

CSR

就労支援機関

- ・ワーカーの応募、採用(有期雇用アルバイト)など
- ・定着支援の協力依頼

「共に働く」上での工夫



業務創出の工夫

No.	部署	優先度	担当	希望依頼業務（小分類）	希望依頼業務（詳細）	難易度	頻度	処理時間（分/件）	処理件数（件/日）	使用ツール	必要スキル
1	人事	◎	鈴木	スカウト代理送信	ピックアップされた候補者の情報確認・スカウト文面への反映	低	毎日	5	7	iroots	基礎入力レベル
2	人事	◎	佐藤	面接日程調整	面接担当者(2名いずれか)の予定を確認し候補日を送信	中	毎日	5	15	Outlook	ビジネスメール
3	人事	◎	佐藤	人事DB情報入力	Green, Openworksなど非連携先応募者情報をHRMOSへの登録	中	毎日	5	5	HRMOS	基礎入力レベル
4	経営管理	◎	佐藤	契約書の整理	システム上での回収状況のチェック、未回収分は担当に週単位でアラート通知	中	週1	3	10	Team Spirit, Outlook	ビジネスメール
5	経営管理	◎	鈴木	SF入金処理	ネット銀行の入金情報とSF内情報の突合せ処理	中	毎日	5	3	Salesforce	基礎入力レベル
6	経営管理	◎	鈴木	新規取引企業与信チェック	リンクモンスターで社名検索、格付けを行う	低	毎日	5	3	リンクモンスター	特になし
7	経営管理	◎	溝口	新規取引企業反社チェック	日経テレコンで社名や代表者名で過去の事件などを検索	低	毎日	5	3	日経テレコン	特になし
8	営業	○	佐藤	契約更新サポート	客先常駐エンジニアの契約更新時に対象企業へメール送付、届いたものをファイル格納	低	月1~3回	10	30	Excel	基礎入力レベル
9	営業	○	佐藤	請求書の金額照合	請求書データとシステム申請済内容との金額照合	中	週1	10	30	経費システム	基礎入力レベル
10	営業	○	鈴木	会議室の予約・日程調整	Outlookの予定表を見ながらアポイントの日程調整・会議室の予約をとりリスト集約。	中	毎日	10	5	Outlook、Excel	ビジネスメール
11	営業	○	溝口	ヒアリングメール送付	入社1日目、1週間後、1ヶ月後のタイミングでエンジニアヒアリングメール送付	低	月3回	5	15	Outlook	ビジネスメール

はじめに、思いっくままに業務を出す

テレワーク中のワーカー状況を把握する工夫

CSR

受入部署向け

ショートタイムワーカー日報共有



ショートタイムワーカー向け

相談フォーム運用+3か月ごとの面談

SUPPORT

In Trouble...



双方が安心して働ける環境づくりへ



ICT機器を使用いただく際の工夫①

- ✓セキュリティ対策
- ✓コミュニケーション
- ✓日々の業務
- ✓OAサポート

情報セキュリティ
オンライン学習

自主監査
オンライン

PC貸与
(VPN等)



ICT機器を使用いただく際の工夫②

- ✓セキュリティ対策
- ✓コミュニケーション
- ✓日々の業務
- ✓OAサポート

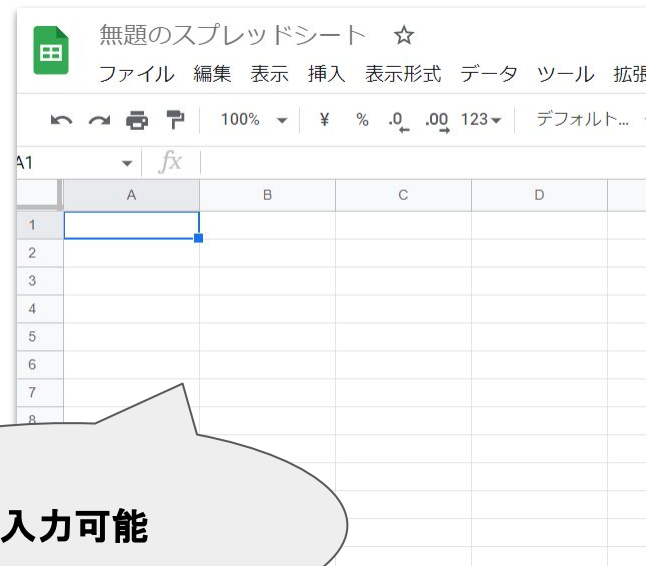
チャット
ツール

オンライン会議ツール
(Zoom)



ICT機器を使用いただく際の工夫③

- ✓セキュリティ対策
- ✓コミュニケーション
- ✓日々の業務
- ✓OAサポート



同時に入力可能

ICT機器を使用いただく際の工夫④

- ✓セキュリティ対策
- ✓コミュニケーション
- ✓日々の業務
- ✓OAサポート



電話・メールで
個別問合せ可能



その他の工夫

雇用開始後の受入部署、ショートタイムワーカーの工夫点事例集の共有

雇用開始後のポイント 受入部署編

受入部署が、ショートタイムスタッフを雇用開始後に発行した工夫について記載しています。

カテゴリ	事例	内容
コミュニケーション	業務に集中してゆっくり会話ができないときがある	定期的に業務進行確認のMTGを実施する
体調管理	業務時間内では体調不良に気づかない時がある	こまめに日報に目を通す
環境整備	自宅ネットワークが弱くつながらない	光通信の入らないエリアだったため、環境が弱かった
環境整備	手が不自由なため、入力には音声入力を活用したいとの相談があった	本人のいつも利用しているものを活用した。
環境整備	電話の音が強く、聞き取りにくい状態だった。	手が不自由なため、ハンズフリーで電話に出る必要があるを確認し、スピーカーフォンを貸与。
環境整備	トラックボールを利用してPCを使用、トラックができるようになるためインストールしたいとの相談があった	本人に何をインストールしなければならないか、確認し、行なった。
環境整備	スクリーンキーボードを利用したいとの相談があった	相談時にその相談があったため、会社PCにあらかじめ貸与。
環境整備	手が不自由なため、手の可動域の範囲内で気軽にコミュニケーションができるように工夫したかった	kubiをデスクに配置。実際に自宅へいきデスクを振り回す環境を整えた。
環境整備	スクリーンキーボードを利用したいとの相談があった	会社所有のPCのサイズがA4と決まっていたため、別途ターを買った。
環境整備	ネットワーク状態により通話や画面が途切れる。	本人と円滑なコミュニケーションをとることを重視し、様々な通話手段を用いることで、メールだけのやりとりにならないようにした。

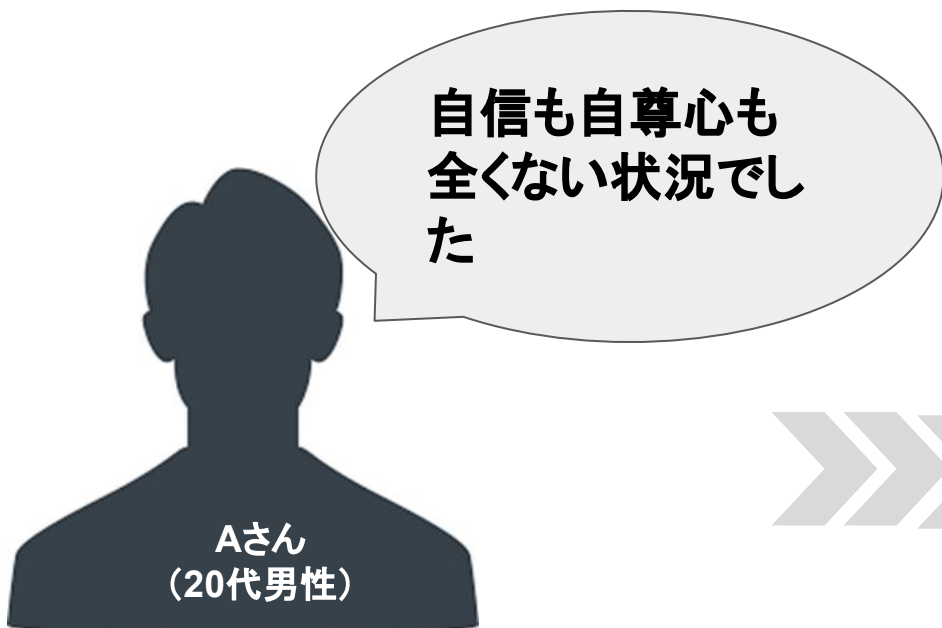


周囲の音が気になると相談を受けた	<ul style="list-style-type: none"> 本人の意向を確認 静かな席への移動やイヤホンを使用することで集中できることを確認 静かな集中スペースの案内とイヤホンの使用許可を出した
端の席で業務したいと希望があった	フリーアドレスのため、早い時間に出社するメンバーが端の座席を確保しておき、STSに提供することとした
(社員が) 席を外すことが多い	「いつでもチャットで気軽に話しかけて欲しい」と伝えている。会議中にチャットで相談を受けた際も、可能な限り早く対応している。
担当社員がチャットにすぐに返事が出来ず、待たせてしまうことがある	スタッフを含め数名のチャットルームを作り、「チャットルームへ質問をしてほしい」と伝えている。このことで、他の社員でも分かる質問であればすぐに返事が出来る。
聞かれたことに対して数名のメンバーから異なる回答をしてし	<ul style="list-style-type: none"> 指示システムを明確にした 回答の内容は他のメンバーでまとめてから業務説明者より回答へ統一

さまざまな事例をシェアすることで課題感を低くしスムーズな雇用を後押し

事例紹介

事例(Aさんのケース)



自信も自尊心も
全くない状況で
した

Aさん
(20代男性)

- ・広汎性発達障害
- ・大学卒業後、研究生として大学に在籍

大学の就職支援課に紹介され、
ショートタイムワーカー
として勤務

スタート時(2020年3月)

1日4時間 × 週1日



1年後

1日**5**時間 × 週**4**日

事例(Aさんのケース)

業務内容と評価

スタート時(2020年3月)

アンケート分析やまとめ



1年後

- ・アンケート分析
- ・資料作成 **NEW!**
- ・GAS*を使ったフォーム等作成 **NEW!**

*Google Apps Script

もともとGASのスキルは皆無でしたが、課題を与えるとどんどん伸びていきました。
今では、いなくては困る存在です。



受入れ担当者



事例(Aさんのケース)

終業後の変化



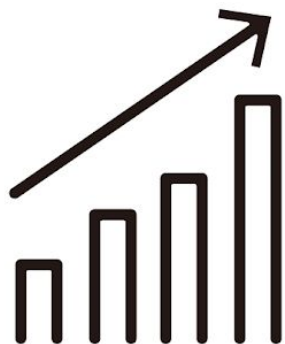
Bさん
(20代男性)

小さな成功体験を
積み重ねたことで
働く自信につながりました！



ショートタイムワーカーを卒業し、一般企業に就職しました。

企業・組織のメリット



①人材不足解消

多様な人材の活用

②生産性向上

業務仕分けの向上

③企業価値向上

SDGs推進

企業文化の醸成

ワーカーのメリット



①働く機会を得られる

はじめての一歩

②キャリア形成

ワークライフバランスの実現

③スキル・経験を活かせる

自分の強みで活躍

自信獲得

今後の展開

2022年～

多様な人が
働ける社会へ

女性活躍支援
2019年～

障がい者支援
2015年～

障がい者

高齢者

子育て/介護中の方

がん闘病者

「ショートタイムワーク」が選択肢の一つに

スキルを活かして働く

ショートタイムワーク実施企業

A社



雇用期間終了後も
別の企業で就業可能
新たな雇用機会の創出

B社

C社

依存先を増やす

※社外市場へ



ショートタイムワーク
アライアンス

**地域や業界の垣根を超え
ショートタイムワークを社会に広め
誰もが働きやすい環境づくりを目指すために発足**

イベントでの交流



毎年のイベント開催による
アライアンス参加企業間の交流

事例の共有



HP・イベントなどでの事例共有

導入企業のサポート



導入企業に向けた
ノウハウ共有によるサポート

ショートタイムワークのさらなる社会展開に向けた活動

**ご清聴
ありがとうございました**

Akiko Miyamoto